

# 「いつでも TV II for Skype™」(NV-LF2010) セットアップガイド

## ご使用になる前に

ご使用になる前に、本紙をよくお読みの上、正しくお使いください。

## セットアップガイドの注意事項

- 1 本紙の内容については改良のために予告なしに変更する場合があります。
  - 2 本紙の内容につきましては万全を期して作成いたしますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
  - 3 ソフトウェアおよび本紙を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ※ Windows は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。  
 ※ Skype は、Skype Limited 社の商標または登録商標です。  
 ※ 本紙は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。本紙の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載または複製(コピー)することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。
- ※ 文中の Skype は、Skype for Windows 2.0 以上を総称します。

## 安全に正しくお使いになるために

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読みください。下記注意事項を本紙に従って、正しく安全に使用してください。

### 警告・注意

けがの恐れがあります

- ・特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理してください。
- ・乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

### 火災の恐れがあります

- ・直射日光のあたる場所、強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。火災の恐れがあります。

### 感電・けが・失明の恐れがあります。

- ・落下などにより損傷した場合、またケーブルの傷ついた場合などは、すみやかに使用を中止してください。また、破損部分や内部には手など触れないようにしてください。
- ・分解しないでください。内部に不意に触れると、けがなどの恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多い所で使用しないでください。感電などの恐れがあります。

## 免責事項について

- ※ 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※ 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求について、当社は一切責任を負いません。
- ※ 本紙の記載内容を守らないことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

## TV 視聴に関する著作権の問題

本製品を使って、営利目的で TV 視聴をすることは法律で禁止されています。ご購入者本人が、個人で TV 視聴する目的でお使いください。

## 同梱物の確認

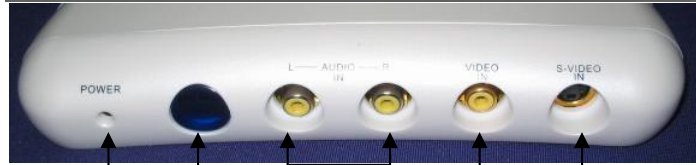
本製品には、以下のものが含まれています。

最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

1. [LF2010] 本体
2. USB ケーブル
3. ビデオ・オーディオケーブル
4. リモコン
5. インストール CD
6. 保証書
7. ユーザー登録案内
7. セットアップガイド(本紙)

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

## 「NV-LF2010」の各部の名称と機能



①	電源 LED	本製品に電源が入るとこの LED が点灯します。
②	リモコン受光部	付属のリモコンはここにに向けて操作してください。
③	オーディオ入力	付属のオーディオケーブルで接続します。
④	ビデオ入力	付属のビデオケーブルで接続します。
⑤	S ビデオ入力	S ビデオ信号を入力します。



⑥	USB 端子	付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。
⑦	アンテナ入力	ご家庭のアンテナを接続します。

## 本製品の特徴と利用イメージ

ビデオ通話対応の Skype を用いて、世界中のどこからでも、本製品を設置した地域の TV やビデオ映像を見ることが出来る製品です。



【メイン PC】本製品を設置したパソコンを「メイン PC」と呼んで説明を進めます。

【ユーザー PC】メイン PC にアクセスしてテレビを視聴するパソコンを「ユーザー PC」と呼んで説明を進めます。

両 PC に Skype がインストールされた環境で使用します。(説明上、メイン PC の Skype 名を「LF2010\_main」、ユーザー PC の Skype 名を「LF2010\_user」とします)

### 簡単な利用イメージ

ユーザー PC で使用している Skype 名「LF2010\_user」から、メイン PC の Skype 名「LF2010\_main」に通信発信します。「LF2010\_main」は、「LF2010\_user」からの着信に自動応答し、「LF2010\_user」の Skype 画面に、テレビ放送が表示され、ユーザー PC でテレビが視聴できます。ユーザー PC から TV のチャンネルの変更やビデオ入力切替もできます。

● 1:1 の接続環境でのみテレビを視聴でき、許可していない Skype 名からの接続を制限できます。

● ユーザー PC には、Skype 以外の専用ソフトなどを用いません。

### 利用上の注意

- ※メイン PC の電源は常時 ON にしておきます。スタンバイモードなどにも入らないように設定してください(Skype の自動応答に必要な設定です)。
- ※インターネット接続は、ADSL 以上のブロードバンド接続環境が必須です。
- ※実際に利用する際の Skype 名の設定でも、メイン PC とユーザー PC は異なる Skype 名(Skype ID)を使用してください。

## ご使用いただくためのパソコンの動作環境

【メイン PC】本製品(NV-LF2010)を接続するパソコン	
対応 OS	Windows XP Home/Pro SP2 以降/MCE2005
インタフェース	USB2.0 のインタフェースを持つパソコン
CPU	動作クロック 1.8GHz 以上
メモリー	128MB 以上(256MB 以上推奨)
ハードディスク	10MB 以上の空き容量があること。 (Skype Ver.2.0 のインストールは含まない)
VGA	8MB 以上の RAM。
サウンド	サウンドブラスター互換(全二重)
ブロードバンドインターネット環境(ADSL 以上推奨)必須	
Skype Ver.2.0 以上がインストールされていること	

※「USB AUDIO DEVICE」や「USB キャプチャ機器」と併用しての利用はできません。

## 【ユーザー PC】テレビを視聴するパソコン

対応 OS	Windows XP Home/Pro /MCE2005
CPU	動作クロック 400MHz 以上(1GHz を推奨)
メモリー	128Mbyte 以上(256MB 以上を推奨)
ブロードバンドインターネット環境(ADSL 以上推奨)必須	
スピーカまたはヘッドホン必須	
Skype Ver.2.0 以上がインストールされていること	

## 使用前の準備

### 1. Skype のインストール

Skype をメイン PC とユーザー PC にインストールしてください。その際、それぞれの Skype 名は別なものにしてください。

- Skype のダウンロード  
<http://www.skype.com/intl/ja/download/skype/windows/>  
 こちらで最新版をダウンロードしてください。  
 ※Skype のインストールと設定方法については、下記を参照してください。  
<http://www.driver.novac.co.jp/skype/lf2010/s2inst.htm>

### 2. NV-LF2010 本体のメイン PC への接続

メイン PC に付属の CD から LF2010 のインストールを行います。(ユーザー PC は、Skype のインストールのみで使用します。)

2-1 付属の CD をメイン PC のドライブにセットしてください。(ここでは、CD-ROM のフォルダーを開くなどはしません。)自動的にインストールが始まります。以下、表示される画面にしたがって、説明します。

① 右図は、インストールの最初の画面です。「次へ」をクリックしてインストールを進めてください。

② 「インストール先の案内」です。「次へ」をクリックしてください。

③ 「次へ」をクリックするとインストールが始まります。

④ インストールの終了画面です。「完了」をクリックし、終了してください。

⑤ LF2010 を付属の USB ケーブルでパソコンと接続してください。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。最初の画面で、右のように「いいえ、今回は接続しません」にチェックを付けて「次へ」をクリックしてください。

次に表示される画面で「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックを付けて「次へ」をクリックしてください。

これで、自動的にインストールが始まります。途中、互換性の問題の画面の表示されますが、「続行」をクリックして作業を進めてください。インストールが終わったら、下記を確認してください。

デバイスマネージャ(※)を開くと、下図のように「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の下に「LF2010 Device」という表示があります。

※デバイスマネージャを表示するには、「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「システム」で、「システムのプロパティ」の画面が表示されます。その画面で「ハードウェア」のタブをクリックし「デバイスマネージャ」のボタンをクリックしてください。

⑥ 「スタート」ボタン⇒「すべてのプログラム」⇒「LF2010」の「LF2010 control panel」アイコンをクリックしてソフトウェアを起動します。

⑦ 右図の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

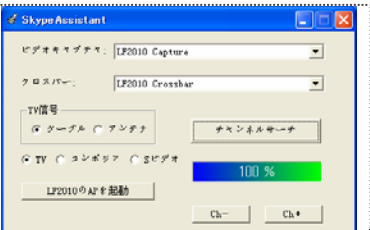
⑧ 「使用するデバイス」に「LF2010 capture」が、「オーディオの設定」に使用しているサウンドボードのドライバと「ステレオミックス」あるいは「WAVE ミックス」を選択し「次へ」をクリックしてください。

⑨ TV の設定とチャンネルのスクリーンですが、後で同じことを行いますので、ここでは、何もせず「次へ」をクリックしてください。

⑩ ウィザードの終了です。「完了」をクリックしてください。

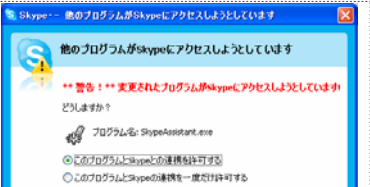
⑪ デスクトップ右下のタスクトレイに右図のアイコンができます。このアイコン上で赤い線が動いているときは、初期化中です。赤い線がなくなるまで何もしないでお待ちください。

⑫ 右図は、ウィザードの終了で表示されます。赤い線がなくなると、「チャンネルサーチ」のボタンが押せるようになります。アンテナをLF2010に接続し、TV信号を選択。「チャンネルサーチ」を行ってください。



⑬ チャンネルサーチが終わったら、右上の X をクリックし閉じてください。

⑭ 右図の画面も同時に表示されます。一番上の「このプログラムと Skype との連携を許可する」にチェックを付けて、「OK」をクリックしてください。



## 5. Skype ソフトの設定

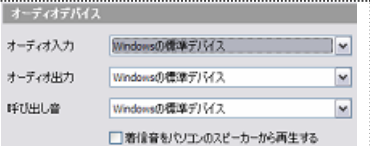
Skype ソフト側で LF2010 を使う設定をします。

Skype のメニューの「ツール」⇒「設定(Z)」をクリックして表示されるいくつかのメニューを設定します。下記の手順で設定をしてください。

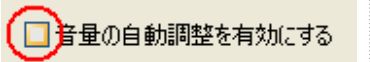


### 【オーディオデバイス】設定

①「オーディオ入力」「オーディオ出力」「呼び出し音」のすべてで、「Windows の標準デバイス」を選択してください。(※)



②「音量の自動調整を有効にする」のチェックを外してください。



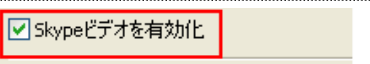
※パソコン側の設定で、Windows の標準デバイスが、USB ヘッドセットや USB ハンドセットなどの「USB Audio」機器となっている場合、本製品は動作しません。

パソコンの「コントロールパネル」を開き、「サウンドとオーディオ」のアイコンをクリックして開く右図のメニューで、「オーディオ」の既定のデバイス(D)を、元々パソコンに標準装備されていたサウンドデバイスに変更してください。

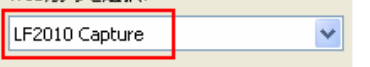


### 【ビデオ】設定

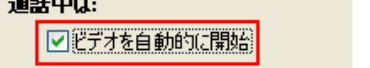
「Skype ビデオを有効化」にチェックを付けてください。



Web カメラを選択で「LF2010 Capture」を選択してください。

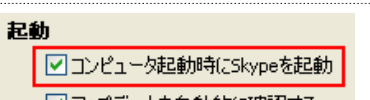


「ビデオを自動的に開始」にチェックを付けてください。



### 【詳細】設定

「起動」で「コンピュータ起動時に Skype を起動」にチェックを付けてください。



「通話」で「自動応答」にチェックを付けてください。



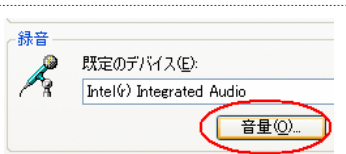
## 6. TV の音量調整の設定

本製品のTVの音量をパソコン側でコントロールできるように設定します。

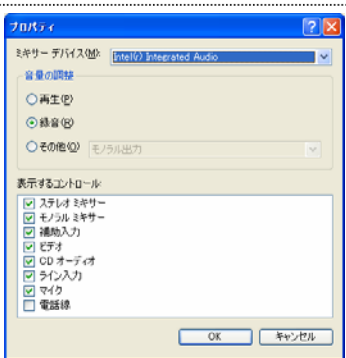
パソコンの「コントロールパネル」を開き「サウンドとオーディオ」のアイコンをクリックして表示される、右図の「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」で以下の設定をします。



①「オーディオ」のタブをクリックして表示される、右図の「録音」の中にある「音量」ボタンをクリック。



②「録音コントロール」の画面が表示されます。「オプション」⇒「プロパティ」を選択してください。右図のような画面が表示されます。「表示するコントロール」の中の「ステレオミキサー(※)」にチェックを付けて「OK」ボタンをクリック。前の「録音コントロール」の画面が表示します。



※ステレオミキサーがない場合、全部の項目にチェック。

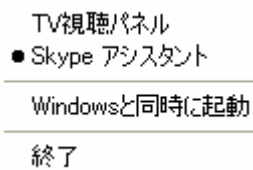
③「録音コントロール」の画面で表示される「ステレオミキサー」の「選択」にチェック。この音量で、本製品のTVの音量が調整できます。右上の [ X ] をクリックしてこの画面を閉じてください。 ※「ステレオミキサー」が無い場合、「WAVE ミキサー」あるいは「Microphone」を選択してください。これは、お使いのサウンドボードによって異なります。



## 本製品の使い方 “ユーザーPC から TV を視聴する”

### 1. メイン PC 側

- メイン PC は、常に Windows が起動している状態にしてください。スタンバイやログオフしている状態では使えません。スクリーンセーバも使用不可です。
- Skype は、常に起動している状態にしてください。ログイン状態を「取り込み中」にしないでください。「ユーザーPC」からの通話発信を自動受信できません。
- Skype のメニュー「ツール」⇒「設定」⇒「ビデオ」⇒「Web カメラのテスト」をクリックして、TV 画面を見ることができます。(音は出ません)
- デスクトップ右下のタスクトレイにある本製品のアイコンを右クリックして表示される「Skype アシスタント」をクリックして表示される画面で、チャンネルの切り替えと入力の切り替えができます。
- 本製品のアイコンをクリックして表示されるメニューの「Windows と同時に起動」にチェックを付けてください。このことで、Windows が起動すると同時に本製品のソフトも起動するようになります。
- 本製品を視聴できる Skype ユーザーの制限については、Skype の「ツール」⇒「設定」⇒「プライバシー」で行います。(詳しくは本紙「詳しい説明と困ったときのFAQ」に記載の Web ページを参照してください。)



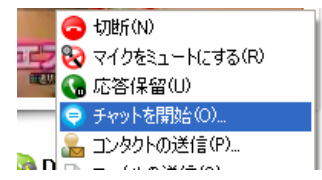
## 2. ユーザーPC 側

「ユーザーPC」の Skype から「メイン PC」の Skype に通話発信します。それだけで、「ユーザーPC」のスカイプの画面にテレビが表示され、スピーカやヘッドホンから音声も出力されます。

### 【チャンネルおよびビデオ入力への切り替え方法】

Skype のチャット機能を用いて、「ユーザーPC」からチャンネルを切り替えられます。

①TV 画面の上にマウスを合わせてマウスの右ボタンを押してください。右図のメニューが表示されます。「チャットを開始」をクリックして、チャット画面を表示します。



②チャット画面の下面に下図の入力ウィンドーでチャンネル切り替えをします。

- (例) 4 チャンネルを視聴したい場合  
下図のように ##4# (シャープ シャープ 4 シャープ) と入力して、Enter ボタンをクリック。(10 チャンネルの場合は、##10# とクリック)  
※すべて半角英数字で入力してください。



ビデオ入力を切り替えるには、チャンネル切り替えと同じ方法で \*\*66\* (アスタリスク アスタリスク 66 アスタリスク) をチャット画面から入力してください。コンボジット入力⇒S ビデオ入力⇒TV と切り替わります。

### 【テレビ画面の大きさの変更方法】

テレビ画面の大きさは、TV 画面上でマウスを動かしたときに表示される「ビデオ全画面」「ビデオウィンドウ」で変更できます。

### 【テレビ表示の終了方法】

通常の Skype 通話を終了するのと同じです。Skype の画面の下にある右図の赤いボタンをクリックしてください。



※ テレビ視聴中であっても、他の Skype ユーザーと「音声通話」以外の「チャット」「ファイル送受信」などが利用できます。テレビ視聴中に他の Skype ユーザーから着信があった場合も着信応答ができます。

## 本製品の使い方 “メイン PC で TV を視聴する”

本製品はメイン PC で LF2010 を使って、TV を視聴、録画することができます。デスクトップ右下のタスクトレイにある本製品のアイコンを右クリックして表示される「TV 視聴パネル」をクリックすると、右記の画面が表示され、メイン PC で TV を見ることができます。付属のリモコンでの操作も可能です。



この画面の操作については、弊社のホームページを参照してください。

<http://www.driver.novac.co.jp/lf2010/>

## 製品保証とアフターサービスについて

### ■ 製品保証

この製品に添付されている保証書に記載の規定で保証いたします。お買い上げ店とご購入日の記入がない場合は、レシート等を保存ください。

### ■ アフターサービス

- 調子が悪いときは  
まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。また、製品の最新情報や本紙「詳しい説明と困ったときのFAQ」に記載の Web ページなどを参照ください。

最新のドライバも入手できます。それでも調子が悪いときは、ドライバやソフトウェアを削除して初期状態にし、本製品を再インストールするなどをお試しください。

### ● 修理をお申込の場合

保証期間中は、保証書に記載の内容で無償にて修理いたします。

### ● 修理品の送付について

※原則として、送付いただく際の発送時の費用は初期不良(購入後1ヶ月以内)を除き、お客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。 ※送付の際は、紛失を避けるため、宅配便か、書留郵便小包でお送りください。

### 【送付先】

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1 本郷イシワビル 5F  
株式会社 ノバック ユーザーサポート 宛 電話番号:03-3817-8711

### ■ ユーザーサポート窓口

セットアップの質問や使用上の不具合、修理依頼など下記までご連絡ください。

### 株式会社ノバック サポートセンター

サポート専用電話 : (03) 3817-0938  
受付時間 : 月曜~金曜の AM10:00~PM12:00 PM1:00~PM5:00  
サポート専用 E-Mail : [users@novac.co.jp](mailto:users@novac.co.jp)

※E-Mail でのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせていただきます。 ※ユーザー登録をお願いします。ご登録いただかないとアフターサービスを受けられない場合があります。下記の Web ページからも登録できます。

<http://www.novac.co.jp/signup/index.html>

## 本製品の使用上の補足と注意

1. メイン PC では、他のソフトを起動しない状態で使用することを強く推奨します。パソコンの負荷が高いと、自動的に着信応答ができず起動できない、ユーザー PC 側で表示される TV 映像がスムーズでない現象などの原因となる場合があります。他のソフトを使う場合は、本製品のアプリケーションを終了してから行ってください。
2. ユーザーPCでのTV表示は、通常のTVのようなスムーズな表示はできません。インターネットを通じた Skype で視聴する条件から、最大 15 フレーム程度の映像とお考えください。それでも十分に視聴できると存じます。
3. 通話(テレビ視聴)は、1:1です。接続中のメインPCは、他の Skype ユーザーからの通話着信に自動的に切り替わることはありません。
4. Skype の特徴として、通話(テレビ視聴)が開始された直後は、最大で 30 秒程度、映像・音声ともスムーズに動作しない場合があります。すぐに安定しますので接続(通話状態)を継続してください。
5. 本製品を接続するメイン PC に、本製品以外のテレビチューナーやビデオキャプチャ、標準装備のカメラなどのビデオデバイスが装備されている場合、また、USB オーディオデバイスや特殊なサウンドカードなどが装備されている場合など、まれに本説明書のとおりインストールや設定をしても動作しない場合があります。その場合は、いったん使用を止めて、ユーザーサポートまでご連絡ください。

## 詳しい説明と困った時の FAQ

下記の Web ページには、FAQ の他に、例えば、本紙に記載よりさらに詳しいインストール方法、パソコンや Skype の設定方法、本製品の使用をやめるときのアンインストール方法、日本国外にあるパソコンに本製品を設置する方法などが記載されていますので、ぜひ、参照ください。

<http://www.driver.novac.co.jp/skype/lf2010/>

「いつでもTV」セットアップガイド 発行日: 第一版 2006年11月

発行元: 株式会社ノバック 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1

LF2010061101